

研究構想シート		学校名	大田市立第一中学校
		氏名	福田 陽子
A 研究主題	未来を生きる資質・能力を身につけた生徒の育成 ～わかる・できる・つながる授業づくりをめざして～		
B 研究の目的	「活力」と「学力」 未来に向かって生きていく自信づくり		
C 子どもの実態 <ul style="list-style-type: none"> ・早い段階からのつまずきにより自身をなくしている生徒がいる。 ・語彙の不足により、言葉でのやりとりが苦手であり、思考を深めることが苦手であり、人間関係作りにも課題がある。 ・ネットやゲームの世界に依存傾向にある生徒おり、今後の生活環境に不安がある。 	E 手立て・内容（研究仮説） 生徒の実態を踏まえ、もっている強みを生かし、わかる・できる・つながる授業づくりや活動を行うことで、未来を生きる「資質・能力」（自身・活力・学力）を身につけた生徒が育つであろう。	D めざす子どもの姿 「応援される人」 <ul style="list-style-type: none"> ・自分のよさ、相手の良さを見つける。 ・人を大切にする。 「あいさつ」「ありがとう」「掃除」を頑張る ↓ 信頼される <ul style="list-style-type: none"> ・毎日の授業を大切にする ↓ 自分の夢や理想を広げる	
	F 検証方法 <ul style="list-style-type: none"> ・意識調査 ・QUアンケート ・見学力調査、全国学力調査 		
	G 研究計画 ①特別支援教育の視点に立った授業づくり ユニバーサルデザインの視点、ICT 活用、個別最適な学び ②育みたい資質・能力を明確にした授業づくり ゴールを明確にする、身につけたことがわかる、家庭学習の工夫 ③協働的な学び ペア活動、グループ活動、安心して学べる集団づくり ④汎用的な能力を意識した取組 総合的な学習の時間の取組の工夫 地域と共に取り組む		